

三鷹市教育委員会 0422-45-1151

総務課(3213)・施設課(3223)・学務課(3233)  
指導室(3247)・生涯学習課(3313)・スポーツ振興課(3323)  
社会教育会館 49-2521・図書館 43-9151 ( )内は内線番号

平成16年  
2004. 4.18

MITAKA Education Board **みたかの教育**

紙面から 2面 社会教育会館講座案内 4面 小・中一貫教育校



# 平成16年度 学校教育の指導目標と基本方針

平成16年2月の教育委員会定例会で、平成16年度の学校教育の指導目標及び基本方針が決定されました。今後、社会教育(生涯学習)も含めた具体的な事業計画に基づき、様々な施策に取り組んでいきます。

1 学校教育の指導目標  
豊かな心を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる児童・生徒の育成

## 2 学校教育の基本方針

時代の変化に児童・生徒が主体的に柔軟に対応できるよう、人権教育、国際理解教育、情報教育、福祉・ボランティア教育、環境保全を大切にす環境教育等を積極的に展開します。児童・生徒の「確かな学力」の向上を目指し、基礎・基本を確実に身に付けるための施策を推進します。

### (1) 人権教育の推進

あらゆる偏見や差別をなくすため、人権教育を推進します。

### (2) 児童・生徒の健全育成の推進

基本的な生活習慣、道徳心や正義感、思いやりの心や社会における基本的なルールを身に付けるため、施策を総合的・体系的に推進します。ア 人と人のかかわりを重視した



ア 道徳性、基本的な生活習慣の育成を図るため、学校、家庭、地域と連携した道徳教育を推進します。  
イ 情報モラルを含めた情報活用能力の育成を図る教育を充実し、ITを活用した教科指導および総合的な学習の時間の指導の充実を図ります。  
ウ 小学校における英語活動や中学校の英語の指

導の充実に努め、自国文化および異文化理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。  
エ 心身に障害のある児童・生徒や学習に遅れがちな児童・生徒に対しては、個々のニーズに応じて、その能力・適性等の伸長を図ります。さらに、通常の学級に在籍するLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)等の児童・生徒への教育的支援の一層の充実に努めます。

### (3) 個性を生かす教育の充実

自ら学び自ら考える力等、社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」をもった児童・生徒を育成します。理解や習熟の程度に応じた少人数指導やティーム・ティーチング、小学校における教科担任制等、個性に応じたきめ細かな指導を行うとともに、小・中学校が連携し9年間を見通した指導の改善を図る等、個性と創造力を伸ばす教育を充実し、学ぶことの楽しさや成就感を体得できる教育を推進します。

### (4) 小・中一貫教育の推進

義務教育9年間の一貫したカリキュラムの開発と小・中学校間における指導上の緊密な連携の推進により、基礎・基本の確実な定着と個性・能力の伸長、児童・生徒の健全育成の一層の充実に努めます。

### (5) 学校組織体制の充実と教員研修・研究の推進

教員研修充実に努め、教員の資質・能力の一層の向上を図るとともに、校長を中心とした学校組織体制の充実と学校経営の改善に努めます。

### (6) 開かれた学校教育の推進

学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能の充実と相互の連携の強化を図り、協働と市民の教育への参画を進めます。各学校は、教育活動等に関する自己点検・自己評価を行い、学校だよりやホームページ等によりその結果を公表するよう努めることにより、自己責任に基づく学校の自主性・自律性を高めます。また、「学校・家庭・地域インターネット」の機能の一層の活用を図ります。

### ア 各学校は、開かれた学校経営を充実します。「三鷹市公立学校学校運営連絡会」において、外部評価を積極的に活用し、学校経営の改善に生かします。

### イ 学校の安全管理の徹底と児童・生徒の安全指導の一層の充実に努めます。さらに、防災拠点としての役割に配慮して、施設・設備の整備を図り、地域・関係諸機関とのネットワーク化を計画的に推進し、安全安心のまちづくりに努めます。

### ウ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

### エ 小・中学校間の強固な連携とゆ

## 平成16年度の主要な施策・予算

### ◇防犯ブザー貸与事業費

45万5千円

通学時等の安全対策として、市内の小中学生の希望者に貸与します。

### ◇英語教育充実事業費

1千21万6千円

小学校の英語教育外国人指導事業を拡充して実施します。

### ◇小・中一貫教育校開設準備関係費

4千46万3千円

平成17年4月開校予定のモデル校について、保護者・市民への説明会や意見交換会等の開催並びに市民・教員や関係者による開設準備検討委員会の設置、カリキュラム開発等の準備を行います。

### ◇教育ネットワークセンター管理運営費

3千88万7千円

国の学校インターネット事業の終了に伴い、三鷹教育ネットワークセンターとして再構築し、市内公立小中学校の接続拠点とします。なお、国の施設は、新たに「ネットワーク配信コンテンツ活用事業」として、全国ネットワークの拠点となり先導的役割を果たすことから、引き続き場所の提供を行います。

### ◇普通教室天井扇風機設置事業費

2千20万5千円

学習環境の向上を図るため、小学校の普通教室に設置します。

### ◇教育用コンピュータ整備事業費

1千84万7千円

国の整備方針に基づき、ノート型パソコンを導入するとともに、老朽化したサーバーの交換を行います。

### ◇第六小学校耐震補強事業費

2億41万6千円

耐震補強2期工事を実施します。

### ◇第一小学校スーパーリニューアル事業費

3億6千23万5千円

老朽化が進んでいるため、実施設計に基づき、耐震補強工事及び大規模改修工事等3年かけて行います。

### ◇中学生救命講習事業費

38万円

市立中学校5校の3年生を対象に、普通救命講習を行います。

### ◇食器改善事業費

5千50万9千円

中学校3校(四・五・六中)で、強化磁器食器へ切り替えます。

### ◇私立幼稚園等助成関係費

6千25万7千円

園児保護者補助金(入園料)、施設整備充実事業補助金を増額します。

### ◇武蔵野(野川流域)の水車経営農家関係費

80万5千円

Eコマニュージアムモデル事業と位置づけている農家の平日公開日を週1日拡大し、解説を日曜日のみから土曜日にも拡大します。

### ◇新選組と多摩の民権展事業費

804万6千円

市にゆかりのある新選組と自由民権運動の展示会・講演会を行います。

### ◇地域子どもクラブモデル事業費

170万3千円

放課後や土・日曜日の遊び場として、余裕教室活用や学校開放を基に、学童保育所や家庭遊び場開放事業等と複合的に連携した子どもクラブのモデル校を拡充して実施します。

### ◇図書館のIT化関係費

202万7千円

図書館本館資料室で、CD-ROM等の電子図書資料収集、オンラインデータベース検索サービス整備をし、情報検索機能の拡充を行います。

### ◇総合型地域スポーツクラブ育成事業費

97万2千円

準備を進め、地域に根ざした形のモデルクラブを設立します。

### ◇一小学童保育所整備事業費

3千93万3千円

増設による定員拡大を図ります。

### ↓総務課内線3213